

インフルエンザ情報 2013年 第5週 (1月28日～2月3日)

岡山県は「インフルエンザ警報」を発令しました。(2月7日発令)

➤ 岡山県の流行状況

○インフルエンザは、県全体で2,670名(定点あたり27.92 → 31.79人)の報告があり、さらに増加しました。

岡山県は『インフルエンザ警報』を発令し、より一層の注意喚起を図ることとしました。

○倉敷市、備中地域で発生レベル3が継続し、新たに真庭地域が発生レベル3になりました。

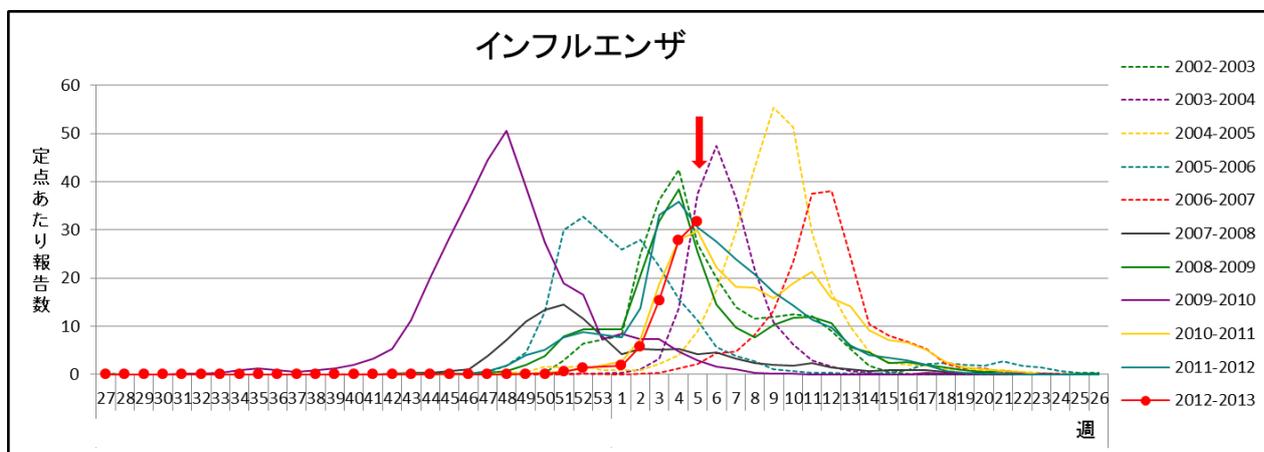
○インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が117施設でありました。

○インフルエンザによる入院患者5名の報告がありました。

【第6週 速報】

○インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が80施設でありました。(2月4日～2月7日まで)

▽岡山市 22 ▽倉敷市 16 ▽備前地域 10 ▽備中地域 10 ▽備北地域 5 ▽真庭地域 3 ▽美作地域 14



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年27週～今年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で2,670名(定点あたり27.92 → 31.79人)の報告があり(84定点医療機関報告)、前週よりさらに増加しました。岡山県では平成25年1月17日に「インフルエンザ注意報」を発令し、注意喚起を図っているところですが、県全体の患者報告数が警報発令基準の定点あたり30.00人を越え、今後も流行が継続する可能性があることから、2月7日、『インフルエンザ警報』を発令し、さらなる注意喚起を図ることとしました。

地域別では、倉敷市(39.25 → 50.06人)で警報発令基準を大きく超えました。また、真庭地域(15.67 → 37.67人)、備中地域(35.83 → 34.83人)でも警報発令基準を越え、大きな流行が発生したと思われる発生レベル3になりました。また、岡山市、備前地域、備北地域、美作地域では、大きな流行が発生する可能性があるレベル2が継続しています。患者はこれまで県南部を中心に増加していましたが、県北部でも大幅な増加がみられ、県内全域で大きな流行になっています。

第5週の学校等の臨時休業は117施設から報告があり、第6週も報告がつづいていることから、今後も幼稚園児・小学生・中学生を中心とした感染の拡大が懸念されます。

インフルエンザは現在流行期に入っています。感染予防を心がけ、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。また、予防接種を受けた人でもかかることがありますので、注意してください。

◆ インフルエンザは流行期に入っています。さらなる感染予防に努めて下さい。

- 家に帰ったら、手洗い・うがいをしましょう。
- 人混みに入る時は、マスクを着用しましょう。
- 十分な睡眠、バランスの良い食事などに気を付けて、抵抗力をつけましょう。

【 かかったかな?という時は 】

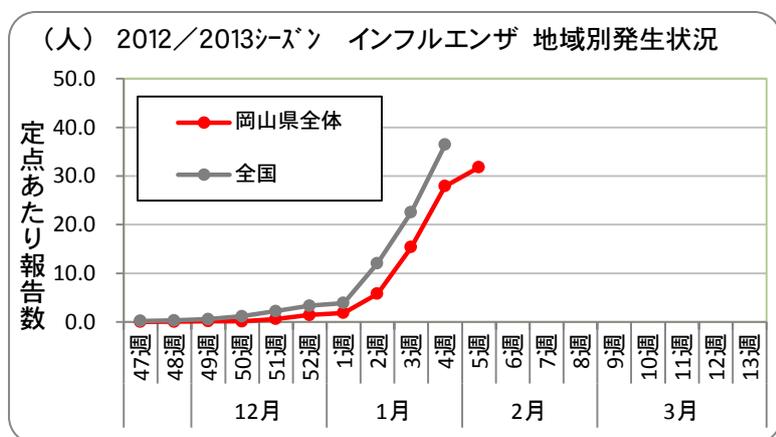
- 早めに医療機関を受診し、確実に治療しましょう。
- できるだけ昼間に受診し、必ずマスクを着用して受診しましょう。
- 周りの人にうつさないように「咳エチケット」を心がけましょう。

1. 地域別発生状況

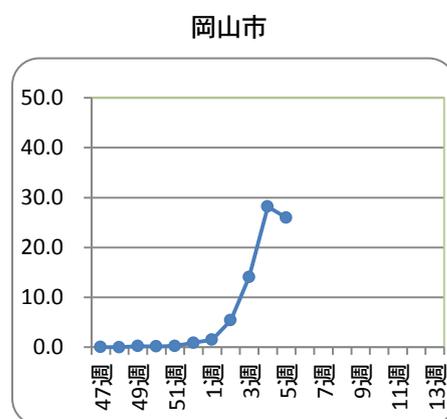
第5週(1/28~2/3) 前週からの推移(単位:人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2,670	↗	備中	患者数	418	↗
	定点あたり	31.79			定点あたり	34.83	
岡山市	患者数	571	↗	備北	患者数	165	↗
	定点あたり	25.95			定点あたり	27.50	
倉敷市	患者数	801	↗	真庭	患者数	113	↗
	定点あたり	50.06			定点あたり	37.67	
備前	患者数	343	↗	美作	患者数	259	↗
	定点あたり	22.87			定点あたり	25.90	

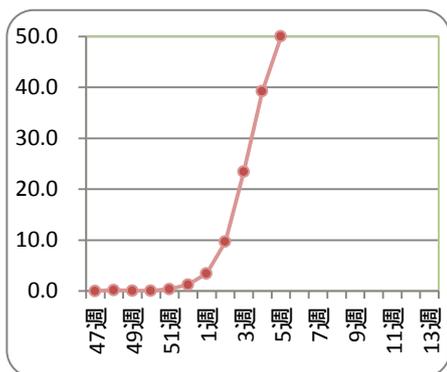
【記号の説明】 前週からの推移: 2倍以上の減少 ↓, 1.1~2倍未満の減少 ↘, 1.1未満の増減 →, 1.1~2倍未満の増加 ↗, 2倍以上の増加 ↑



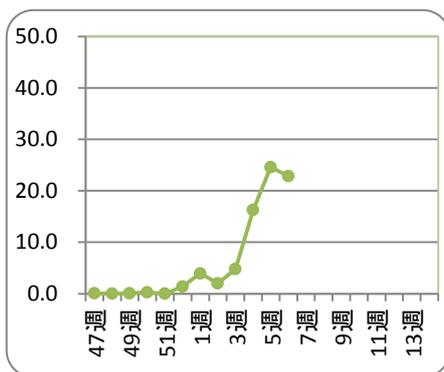
全国集計第4週(1/21~1/27)の定点あたり患者数は36.44人となり、前週(22.58人)よりも大幅な増加になりました。全ての都道府県で前週より増加し、30都道府県で警報レベル(定点あたり30.00人)を越えました。



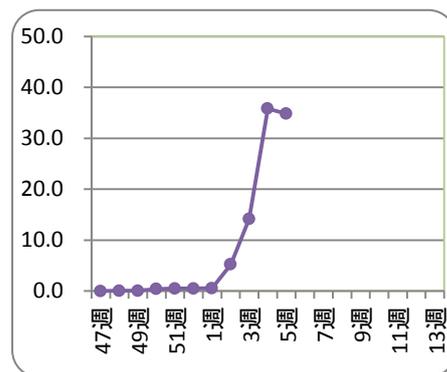
倉敷市



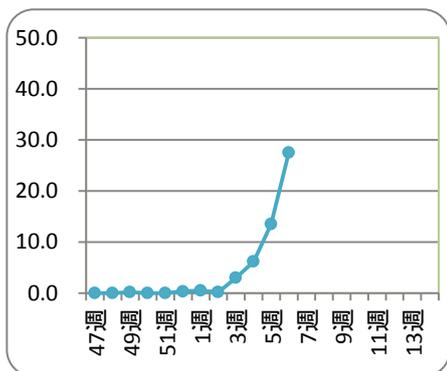
備前地域



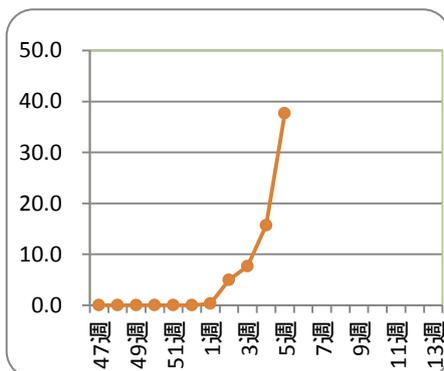
備中地域



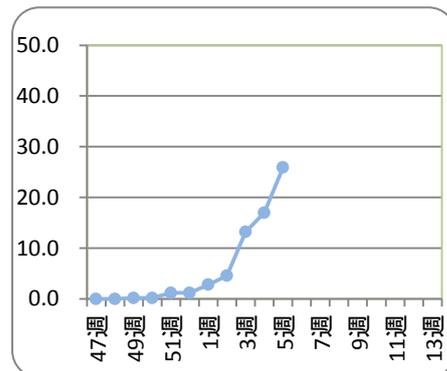
備北地域



真庭地域



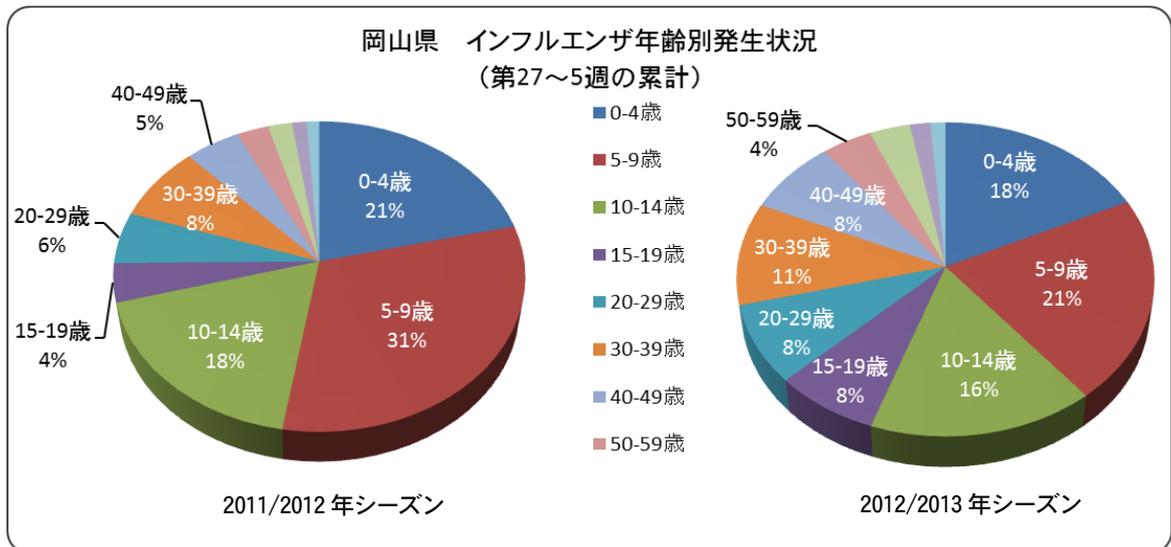
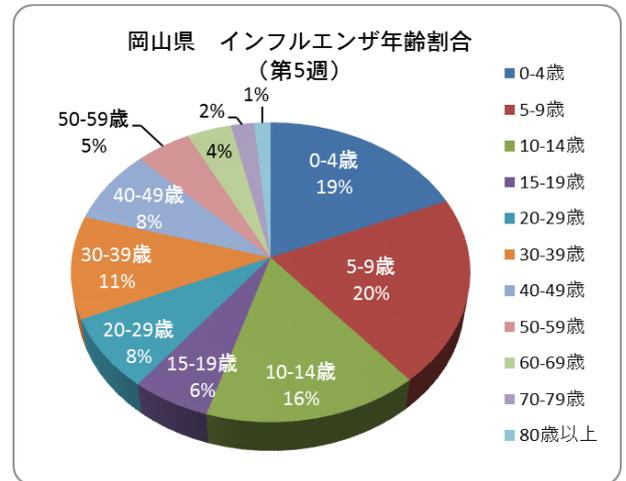
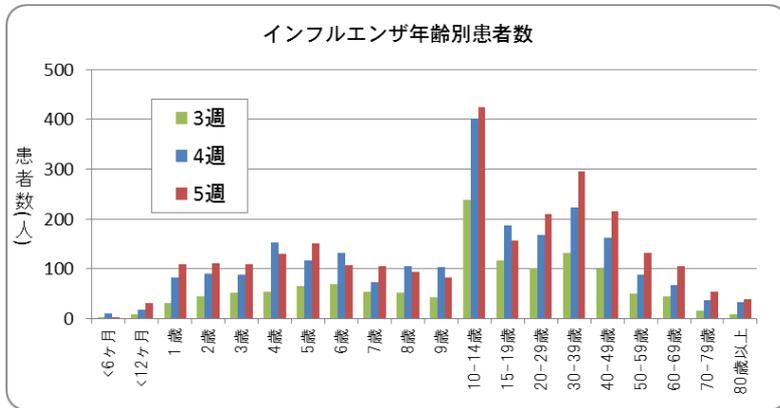
美作地域



2. 年齢別発生状況 第5週 (1/28~2/3)

第5週の患者の年齢割合は5-9歳が最も多く20%、10-14歳が16%、0-4歳が19%でした。15歳未満の幼児・幼稚園児・小学生・中学生に該当する年齢層が患者の55%を占めおり、集団生活の中での感染に注意してください。

また、昨シーズンの同時期までの年齢割合に比べ、高校生・成人の割合が多くなっており、全ての年齢層で注意が必要です。



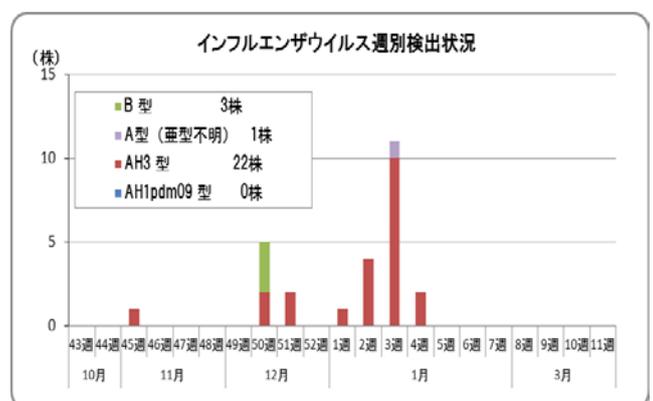
3. インフルエンザウイルス検出状況 第5週 (1/28~2/3)

第5週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、ありませんでした。

これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が22株、A型(亜型不明)が1株、B型が3株です。検出されたウイルスの85%はAH3型ですが、簡易検査ではB型も検出されています。一度インフルエンザにかかっても、型の異なるインフルエンザウイルスに再び感染することがありますので注意が必要です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が最も多く90%、B型が7%、AH1pdm09型が3%の順になっており、昨シーズン同様AH3型が主流になっています。

(インフルエンザウイルス分離・検出速報 国立感染症情報センター)

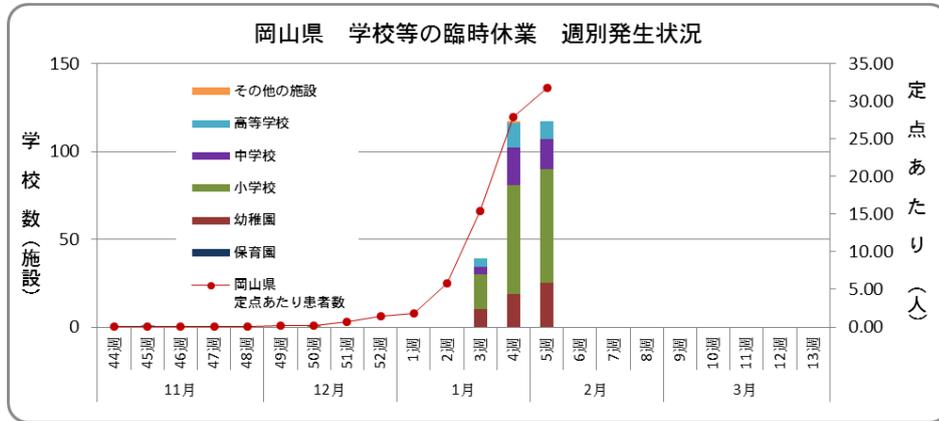


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第5週 (1/28~2/3)

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 117 施設であり、県内全地域から臨時休業が報告されています。

【第5週 臨時休業施設数】

▽岡山市 40 ▽倉敷市 28 ▽総社市 8 ▽玉野市 7 ▽井原市 4 ▽高梁市 4 ▽津山市 4 ▽真庭市 4
▽笠岡市 3 ▽新見市 3 ▽美作市 3 ▽瀬戸内市 2 ▽赤磐市 2 ▽吉備中央町 2 ▽矢掛町 1 ▽和気町 1
▽早島町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳 第5週

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1885	4087	1347	3008	117	275	4	9	30	83	83	183	H 24. 11. 6
岡山市	658	1551	482	1139	40	96	1	1	4	14	35	81	H24. 11. 6
倉敷市	635	1076	421	743	28	57	0	1	2	6	26	50	H25. 1. 15
備前地域	145	491	104	367	14	40	2	3	6	18	6	19	H25. 1. 15
備中地域	230	520	191	431	17	45	1	3	5	23	11	19	H24. 12. 12
備北地域	84	135	61	107	7	13	0	1	6	10	1	2	H25. 1. 21
真庭地域	59	75	31	47	4	5	0	0	4	5	0	0	H25. 1. 21
美作地域	74	239	57	174	7	19	0	0	3	7	4	12	H25. 1. 15

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています

2) 臨時休業施設数の内訳

第5週：117 施設

累計：275 施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	25	54	65	148	17	42	10	30	0	1

◆ 学校等の臨時休業が増加しています。

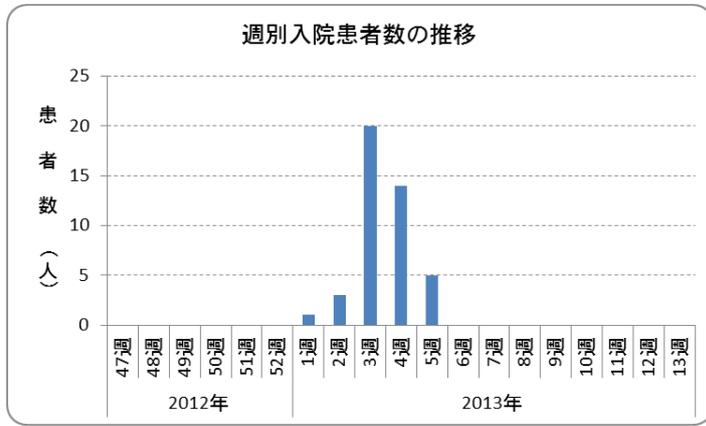
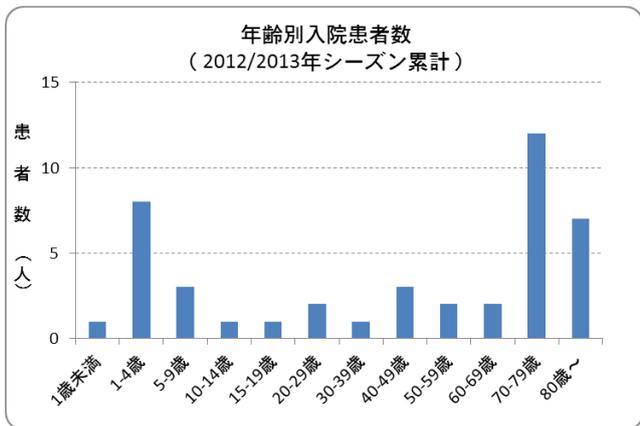
平成 24 年 4 月 1 日より、学校保健安全法施行規則が一部改正され、インフルエンザの出席停止期間が「解熱した後 2 日を経過するまで」から「発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日(幼児にあつては、3 日)を経過するまで」に改正されました。水分を十分にとり、安静にして休養をとみましょう。

※ [学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について\(通知\)](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数 第5週（1/28～2/3）（県内基幹定点5医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は第4週分追加が2名（幼児1名、10代1名）、第5週は5名（幼児2名、40代1名、70代2名）の報告がありました。10歳未満の幼児、70歳以上の高齢者で入院患者が増加しています。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうととしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第4週追加、第5週 入院患者報告数】

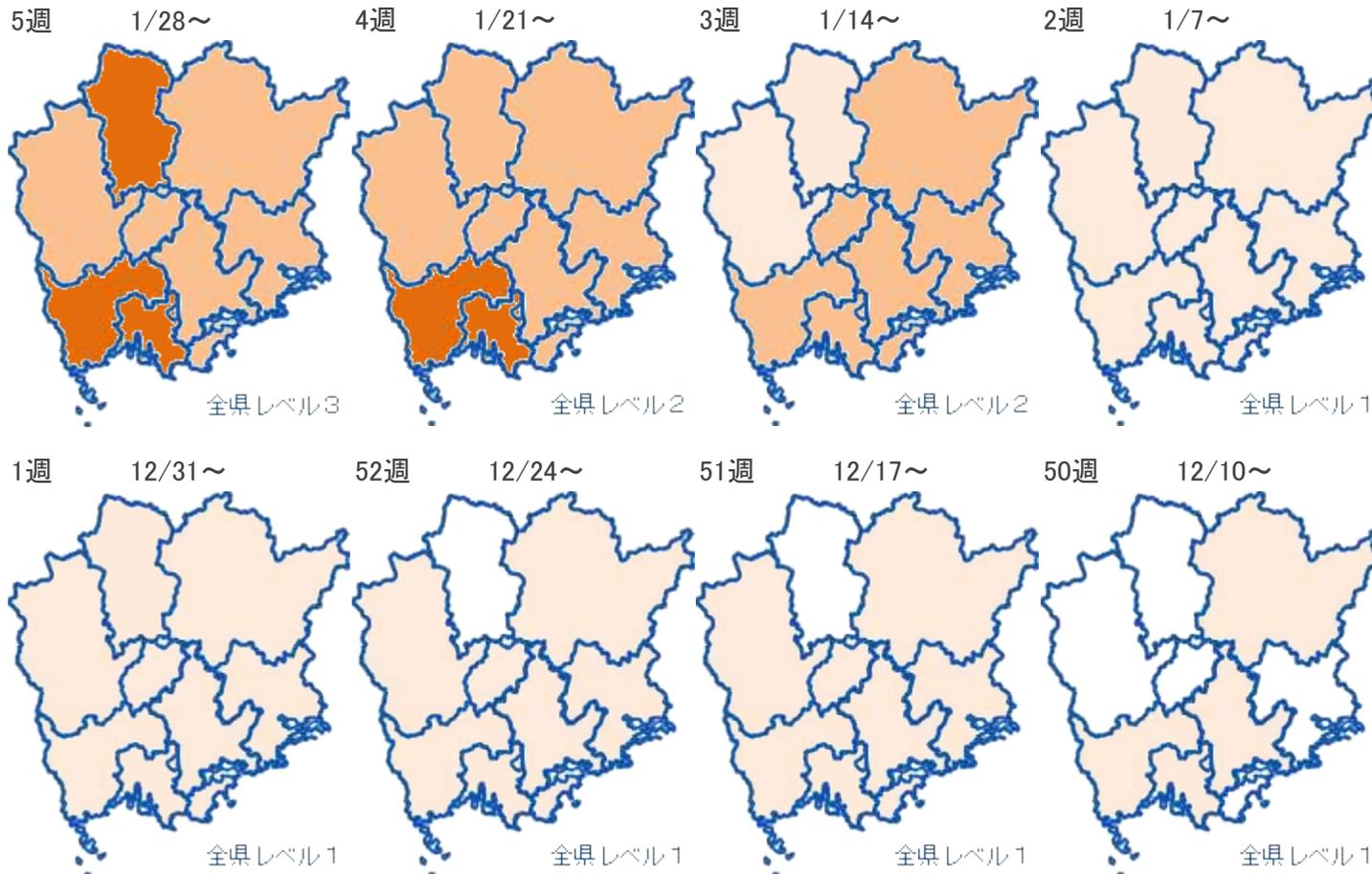
年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		2	1	1				1			2		7
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)				1							1		2
頭部MRI検査(予定含)			1										1
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず		2						1			1		4

*重複あり

【平成24年9月3日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	8	3	1	1	2	1	3	2	2	12	7	43
ICU入室										1			1
人工呼吸器の利用										1			1
頭部CT検査(予定含)		2	1	1	1	1					2		8
頭部MRI検査(予定含)		1	1		1								3
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず	1	6	1			1	1	3	2	1	10	7	33

*重複あり



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。